

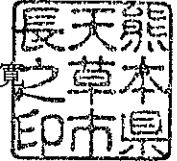


天道第127号

平成19年5月1日

国土交通省道路局長 殿

天草市長 安田 公 寛



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のこのことについて、別紙のとおり回答いたしますのでよろしくお願いいたします。

「重点化を進める上で、特に優先度の高い道路政策は」

- ・地域振興の基盤となる幹線道路網の整備
- ・災害や事故等発生した場合、地域経済に多大な影響を及ぼす代替路線がない道路のバイパス整備、及び恒常的に発生している渋滞対策

天草市の中心部に位置する上島と下島を連絡する道路は国道324号の天草瀬戸大橋のみで連絡されております。1日あたりの交通量は約2万8千台あり、一本の橋では限界の状況となっており、朝夕の渋滞は慢性化しております。また、橋周辺でひとたび事故等が発生しますと、その影響が何時間も続き、産業経済や住民生活への影響は計り知れず、また、防災面からも代替道路の整備は必要不可欠でございます。

(天草上島と下島を連絡する路線として、地域高規格道路 熊本天草幹線道路の調査区間として約4kmが指定をされております。一日も早い整備区間への格上げ、早期整備が最大の懸案事項です。)

「効率化を徹底的に進める上で、重視すべきこと」

- ・個別事業のスピードアップ

バイパス整備事業や改良事業等の道路事業の場合、事業実施から完了まで長期（10年程度以上）に渡る事業が多く見受けられる。単年度予算を増額し集中投資を行うなど、事業のスピードアップが必要と思われる。

（地域高規格道路 熊本天草幹線道路は区間ごとに整備されておりますが、完了までに10年程度の期間を要しております。今後は工事完了までの期間の短縮を望みます。

「その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見」

(1) 公共交通機関が都市部のように発達していない（代替路線が無い、また、公共交通機関が路線バスのみ）地方は、一本の道路で物流や地域間交流が行われておりますが、未改良箇所がまだまだ多く地域間交流や物流等の経済活動等に影響を与えております。道路の整備は地域振興や地方の自立、防災面でも必要不可欠な事業です。今後も道路行政の拡大に向けた取り組みや事業の推進をお願いしたいと思います。

(2) 本市に関連する国土交通省の中期ビジョン（案）で、地域高規格道路 熊本・天草幹線道路と島原天草長島連絡道路が公表されて

おります。2 路線とも天草はもとより熊本の産業経済の発展には欠かせない重要な路線でございます。特に天草上島と下島を連絡する橋梁、天草下島と長島を連絡する橋梁の早期整備が全島民の悲願でありますので、一日も早い整備を望みます。

(3) 幹線道路沿いに道の駅が整備されておりますが、これら施設を光ファイバーとネットワークすることで利便性が高まると考えますので整備推進を望みます。